



PLATINUM EDGE
AGILE EXPERTS

AIが我々人間のアジリティをどう強化するか



評価

現状の評価



採用

研修を受けた優秀な人材



メンタリング

継続的なメンタリングによる
微調整と正しい状態の維持



コーチング

派遣型コーチングによる
適切な指導



トレーニング

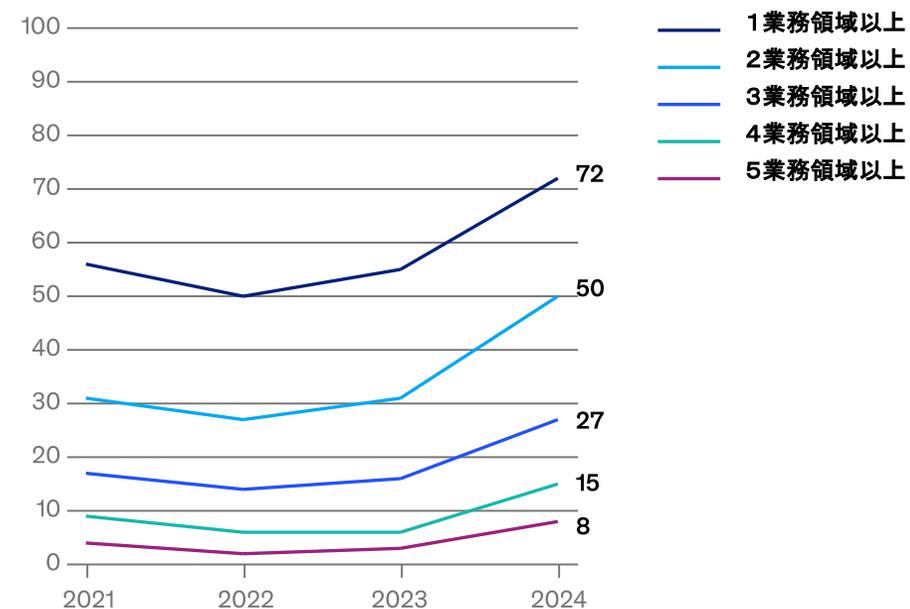
インタラクティブな授業による
有用な知識

AIは驚くべきツール

- 生成AIは既存のテクノロジーと連携することで、現在の仕事の60%～70%を自動化できる可能性がある
- 年間2.6兆～4.4兆ドルの生産性向上をもたらす
- 自動化できる仕事の25%には自然言語を理解する能力が必要
 - 知識労働者への潜在的脅威に

調査結果によると、企業は以前よりも多くの業務領域でAIを活用している

回答者の組織でAIを採用している業務領域数。回答者の割合（%）



¹In 2021, n = 1,843; in 2022, n = 1,492; in 2023, n = 1,684; in early 2024, n = 1,363.
Source: McKinsey Global Survey on AI, 1,363 participants at all levels of the organization, Feb 22–Mar 5, 2024

McKinsey & Company

AIは驚くべきツール

価値創出のロードマップ



ステージ1: プロダクトビジョン

説明:「プロダクトゴール」と「企業戦略」との整合性
 オーナー:プロダクトオーナー
 頻度:少なくとも年1回



ステージ2: プロダクトロードマップ

説明:プロダクトビジョンを実現するプロダクトフィーチャーの全体像
 オーナー:プロダクトオーナー
 頻度:少なくとも年2回



ステージ3: リリースプランニング

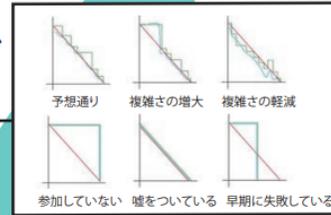
説明: 特定のプロダクト機能のリリース時期
 オーナー: プロダクトオーナー
 頻度: 少なくとも四半期ごと



(ステージ1~3は、スクラム以外のベストプラクティスである)

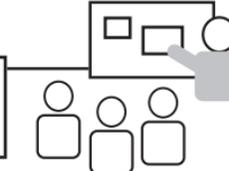
ステージ7: スプリントレトロスペクティブ

説明:効率性を高めるための、チームによる環境とプロセスの改善の取り組み
 オーナー:スクラムチーム
 頻度:各スプリントの終わりに



ステージ6: スプリントレビュー

説明:動作するプロダクトのデモ
 オーナー:プロダクトオーナーと開発チーム
 頻度:各スプリントの終わりに



ステージ5: デイリースクラム

説明:日単位の優先順位の調整、確立
 オーナー:開発チーム
 頻度:毎日



ステージ4: スプリントプランニング

説明:特定のスプリントのゴールとタスクの確立
 オーナー:プロダクトオーナーと開発チーム
 頻度:各スプリントの開始時

タスク	担当者	開始日	完了日	進捗	コメント
タスク1	開発者A	1/1	1/5	完了	
タスク2	開発者B	1/1	1/5	完了	
タスク3	開発者C	1/1	1/5	完了	
タスク4	開発者D	1/1	1/5	完了	
タスク5	開発者E	1/1	1/5	完了	
タスク6	開発者F	1/1	1/5	完了	
タスク7	開発者G	1/1	1/5	完了	
タスク8	開発者H	1/1	1/5	完了	
タスク9	開発者I	1/1	1/5	完了	
タスク10	開発者J	1/1	1/5	完了	

準備

実行

AIは驚くべきツール

「AB Mobileは、外出先で銀行取引を行う必要があるAgile Bankのお客様が、即座にタスクを完了できるモバイルアプリである。このソリューションは自宅やオフィスのコンピュータを使った従来のバンキングとは異なり、外出先でのシームレスな銀行取引を可能にし、ユーザーは素早く、簡単に、安心して財務管理ができるようになる。これは、お客様にいつでもどこでもソリューションを提供するというAgile Bankの戦略に沿ったものである。」

シームレスな口座管理と取引	パーソナライズされた財務管理と利便性	無制限のアクセスと柔軟性
<ul style="list-style-type: none"> Display account balances and available funds. Show recent transaction history. Filter transactions by date and type. Provide transaction search functionality. Display account details, such as account number and type. Allow users to update nicknames for their accounts. 	<ul style="list-style-type: none"> Transfer money between internal accounts. Enable transfers to external accounts. Add payees and schedule bill payments. Provide payment confirmation and history. Generate and store digital receipts for completed transfers. Track transfer statuses in real-time. 	<ul style="list-style-type: none"> Enable image capture with guidelines for clear check photos. Include auto-capture and manual capture options. Confirm deposit amounts and provide immediate feedback. Notify users of deposit statuses and potential errors. Maintain a history of mobile deposits. Allow users to view details of each deposit.

1. 口座概要のダッシュボード

・エピック1.1：口座サマリー

- ・口座残高と利用可能資金を表示。
- ・最近の取引履歴を表示。

・エピック1.2：詳細な取引履歴

- ・取引を日付と種類で絞り込む。
- ・取引検索機能の提供。

「顧客に対して、口座残高や最近の取引を閲覧するための安全で便利なアクセスを提供するアビリティをデモする。」

スプリントのユーザーストーリー：

ユーザーストーリー 1: 口座残高の確認

- ・ユーザーとして、メインのダッシュボードで口座残高を確認し、利用可能な資金をすぐに確認したい。

受け入れ基準：

- ・ダッシュボードに現在の口座残高を分かりやすく表示する。
- ・リアルタイムまたはログインごとに口座残高が更新されるようにする。

セイルポート・レトロスペクティブ

目的：チームを前進させたもの、後退させたもの、潜在的なリスクや将来の目標を特定しながらスプリントを振り返る。

スプリントレビュー：ステークホルダーからのフィードバックのまとめ

ポジティブなフィードバック

- ・ **アクセスのしやすさ**：ダッシュボードに口座残高が見やすく表示されることは、外出先でも迅速なバンキングを提供するという商品の目標に合致しており、ステークホルダーは高く評価した。
- ・ **生体認証とMFAのセキュリティ**：生体認証によるログインと多要素認証の統合は、特に資金データの機密性を考慮すると、顧客の信頼とセキュリティの強化することになり、好意的なフィードバックを得た。
- ・ **リアルタイム通知**：新しいデバイスによるログイン通知機能によって、価値あるセキュリティ層が追加されることになり、ステークホルダーは満足している。

1. 昨日以降、何が完了したか？

・ 開発タスク：

- ・口座残高コンポーネントを作成しダッシュボードにブレースホルダ残高が表示されるようになった。
- ・バックエンドAPIからリアルタイムの口座残高データを取得する機能を実装し、初期テストは良好のようだ。

...しかし、AIは人間ではない



なぜそれが重要なのか？

理由：

- 知識はコモディティである
- プロセスは簡単、人間は複雑

一般的な例

1860年代、科学者たちはエネルギー不均衡が脂肪生成に与える影響を確立した。



ウィルバー・オリン・アトウォーター

一般的な例

2024年、パーソナルトレーニング業界は年間2兆2,948億8,305万5,273円（150億ドル）の産業に。



アジリティの例



Question: アジャイルとスクラムの違いは何ですか？

アジャイルとスクラムの違いは、アジャイルがプロジェクト管理のための包括的な哲学や価値観を指すのに対し、スクラムはそのアジャイルの価値観と原則に基づいて具体的に設計されたフレームワークであるという点にあります。

1. アジャイル: アジャイルは、プロジェクト管理における柔軟性、迅速な適応、そして反復的な開発を重視する哲学です。アジャイルは特定の метод論ではなく、むしろプロジェクトをどのように管理し、進めるかに関する価値観と原則の集合体です。アジャイルの価値観は、アジャイルマニフェストに記載されており、個人と対話、動くソフトウェア、顧客との協力、変化への対応を重視しています。

2. スクラム: スクラムは、アジャイルの価値観と原則を実践するための具体的なフレームワークです。スクラムは、プロジェクトを短期間の反復（スプリント）に分割し、各スプリントの終わりに動作するプロダクトを提供することを目指します。スクラムには、スプリントプランニング、デイリースクラム、スプリントレビュー、スプリントレトロスペクティブといった特定のイベントや役割（プロダクトオーナー、スクラムマスター、開発チーム）が含まれています。

要するに、アジャイルはプロジェクト管理のための哲学的な枠組みであり、スクラムはその枠組みを実践するための具体的な方法論です。

Source - [Scrum For Dummies 3rd Ed.](#)

Your question

GET ANSWER NOW

なぜそれが重要なのか？

理由：

- 知識はコモディティである
- プロセスは簡単、人間は複雑

スクラムのフレームワークはシンプル

3 説明責任

- ・プロダクトオーナー
- ・開発者
- ・スクラムマスター

3 作成物

- ・プロダクトバックログ
- ・スプリントバックログ
- ・インクリメント

5 イベント

- ・スプリント
- ・スプリントプランニング
- ・デイリースクラム
- ・スプリントレビュー
- ・スプリントレトロスペクティブ

ウォルター・シューハートは1930年代にPDSA
(Plan-Do-Study-Act) サイクルを開発



人間らしさとは何か？

文脈の理解

- 歴史的、文化的、状況的

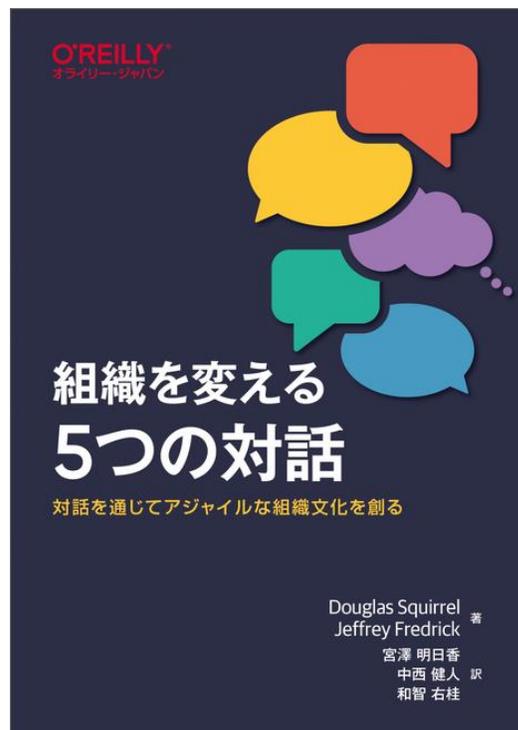
微妙な判断

- 経験、倫理観、柔軟な考え方

人と人とのつながり

- 感情知能、コミュニケーションの一貫性、言葉にできないもの

まとめる力：対話がアジャイルな組織を作る



『組織を変える5つの対話
—対話を通じてアジャイルな組織文化を創る』

Douglas Squirrel、Jeffrey Fredrick 著
宮澤 明日香、中西 健人、和智 右桂 訳



信頼を築く対話

全員が組織の価値観を共有

- データの透明性
 - パフォーマンスの客観性が高まる
- コラボレーションの強化
 - ツールではなく、人間を重視
- 包括性の推進
 - 参加パターンを偏りなく分析

恐れを乗り越える対話

心理的安全性の確立

- 個別学習とサポート
 - リアルタイムのガイダンスと対処法
- 予測分析
 - 将来の結果は今日の行動がもたらす
- 暴露療法
 - 事前に状況を把握し、安全に対処する

WHYを作り上げる対話

意思決定の指針となる戦略的方向性

- 業界ベンチマーク
 - 期待の確立
- 高度なデータ分析
 - 隠れたパフォーマンス・ギャップの特定
- 組織目標の遵守
 - 戦術的な仕事を戦略的な目標に直接結び付ける

コミットメントを作り上げる対話

いつ、何をするかを定期的に発表する

- コミュニケーションとコラボレーションのツール
 - 効果的なコミュニケーションのための労力を減らす
- パーソナライズされた報酬システム
 - 私たちは皆、一人の人間である
- センチメント分析
 - ステークホルダーの期待とギャップを把握する

説明責任を果たす対話

業務結果の説明義務

- SMARTな目標設定
 - 効率的である前に効果的であれ
- 責任ギャップの特定
 - 部門横断チームがボトルネックを解消
- パフォーマンスモニタリング
 - 達成可能で現実的な目標

まとめ

AIはチェンジエージェントを支援するものであり、代替品ではない

- コンテンツの出発点を教えてくれる
 - あなたにとって何が正しいかは教えてくれない
- データ分析を提供できる
 - あなたをチームとつなげるものではない
- コミュニケーションを円滑にする
 - クライアントを満足させることはできない

資料

AI ツール :

- 一般 : ChatGPT、Claude、Gemini
- インターネット検索 : Perplexity
- 理由付け/思考 : OpenAI 01
- マルチエージェント : OpenAI Swarm
- メール管理 : Co-Pilot (Outlook) 、 Gemini (Gmail)

書籍 :

- 『[これならうまくいく アジャイルプロジェクトマネジメント 決定版](#)』 (マーク・レイトン、スティーブ・オスターミラー、ディーン・カイナストン 著、張 嵐、横田 和彦 監訳、株式会社テプコシステムズ 訳、エスアイビーアクセス社)
- 『[Scrum For Dummies](#)』 (マーク・レイトン、スティーブ・オスターミラー、ディーン・カイナストン 著)
- 『[予測マシンの世紀ーAIが駆動する新たな経済](#)』 (アジェイ・アグラワル、ジョシュア・ガンズ、アヴィ・ゴールドファーヴ 著、小坂 恵理 訳、早川書房)
- 『[HUMAN+MACHINE 人間+マシン : AI時代の8つの融合スキル](#)』 (ポール・R・ドーアティ、H・ジェームズ・ウィルソン 著、保科 学世 監修、小林 啓倫 訳、東洋経済新報社)

AI:

- Ask Mr. Agile®
@PlatinumEdge.com



ASK MR. AGILE ®



動画 :

- [Agile Foundations Live Lessons \(Informit\)](#)、マーク・レイトン
- [Build a tower, build a team \(TED\)](#)、トム・ウージェック
- [Is agile incremental or iterative? \(YouTube\)](#)、TheAgileBroadcast
- [Nordstrom Innovation Lab \(YouTube\)](#)、fashiontechpr



- 『[教養としてのAI講義](#)』 (メラニー・ミッチェル 著 松原 仁 解説、尼丁 千津子 訳、日経BP)
- 『[あなたのチームは、機能していますか？](#)』 (パトリック・レンシオーニ 著、伊豆原 弓 訳、翔泳社)
- 『[The Coming Wave AIを封じ込めよ DeepMind創業者の警告](#)』 (ムスタファ・スレイマン、マイケル・バスカー 著、上杉 隼人 訳、日本経済新聞出版)
- 『[The AI Advantage: How to Put the Artificial Intelligence Revolution to Work](#)』 (トーマス・H・ダヴェンポート 著)
- 『[Machine Learning Yearning](#)』 (アンドリュー・ン 著)

ありがとうございました！

